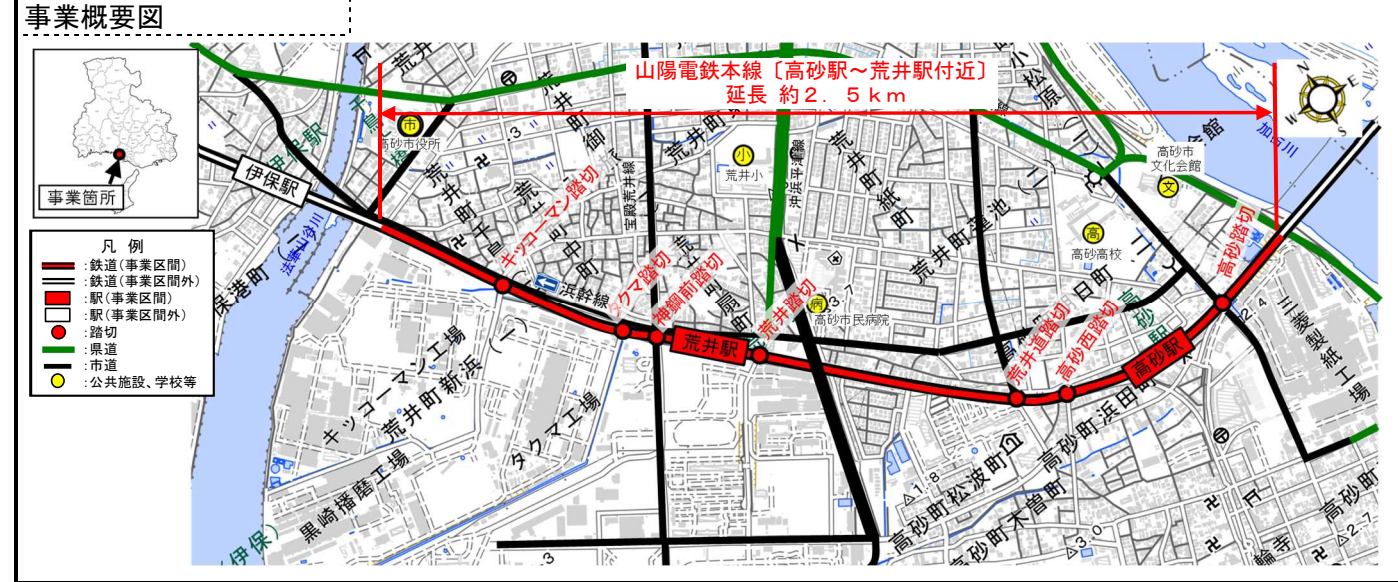


新規事業採択時評価結果（令和4年度新規着工準備箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：荒川 辰雄

事業の概要

事業名	連続立体交差事業 山陽電鉄本線（高砂駅～荒井駅付近）	事業区分	連続立体交差	事業主体	兵庫県
起終点	自：兵庫県高砂市高砂町 至：兵庫県高砂市荒井町	延長	2.5km		
事業概要	<p>本事業は、山陽電鉄本線の高砂駅から荒井駅付近の約2.5kmにおいて、鉄道を立体化することにより、7箇所の踏切を除却し、都市交通の円滑化をはかるとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>本事業区間には、自動車ボトルネック踏切である高砂踏切、最大渋滞長が1,700m（踏切～国道250号）に及ぶ神鋼前踏切が存在し、慢性的な交通渋滞が発生している。平成25年2月には、信号交差点に近接する神鋼前踏切において特急列車がトラックと衝突し、脱線する事故が発生した。播磨臨海工業地域を形成する臨海部には多くの企業が集積しているが、神鋼前踏切における中型車以上の北進規制、キッコーマン踏切が接続する（都）浜幹線の一方通行などにより物流に支障を来している。さらに、鉄道南側には播磨臨海地域道路が計画されており、アクセス性向上が求められる。</p> <p>このため、本事業において当該区間の鉄道を立体化し、7箇所の踏切を除却することで、円滑な道路交通を確保し、踏切事故の解消を図るとともに、臨海部工業地域からの物流機能の強化、播磨臨海地域道路へのアクセス性の向上を図る。</p> <p>併せて、連立事業と一体的に実施する関連事業において、駅前広場を整備することにより交通結節機能の向上を図るとともに、大型商業施設跡地での民間開発や観光エリアへのアクセスルート整備により地域の賑わいを創出する。</p>				
全体事業費	350億円	踏切交通遮断量	132,236台時/日（7箇所計）		



関係する地方公共団体等の意見

高砂市長は、本事業が市域全体にストック効果が広がり、本市の未来に大きく寄与するものとして、令和4年度の着工準備の新規採択を要望している。また、高砂商工会議所から、県と市に対し、連立事業の要望が毎年出されているなど、地元の期待は大きい。

学識経験者等の第三者委員会の意見

令和3年度兵庫県公共事業等審査会（第三者委員会）において「着手妥当」と判断されている（12月14日）

事業採択の前提条件

事業の効率性：便益が費用を上回っている。
 事業実施環境：円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.8	総費用：160億円 （事業費：159.4億円 維持管理費：0.1億円）	総便益：281億円 （移動時間短縮便益：269.8億円 走行経費減少便益：10.8億円 交通事故減少便益：0.7億円）	基準年：令和3年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.6（交通量 -10%）	B/C=1.9（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.6（事業費 +10%）	B/C=2.0（事業費 -10%）		
	事業期間変動	B/C=1.6（事業期間 +10年）	B/C=1.9（事業期間 -10年）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・自動車ボトルネック踏切をはじめ7箇所の踏切における渋滞の解消が図られる。 ・高砂踏切や神鋼前踏切を除却することにより、円滑な交通が確保され、周辺道路の交通渋滞が解消される。 〔最大ピーク時踏切遮断時間：35分/時（高砂踏切） 最大踏切交通遮断量（自動車）：50,227台時/日（高砂踏切） 最大踏切交通遮断量（歩行者等）：23,405台人時/日（荒井踏切） 踏切による最大渋滞長：約1,700m（神鋼前踏切）〕		
		事故対策	◎	・踏切事故の解消が図られる。 〔平成27年度～令和元年度：1件の踏切事故が発生 平成25年2月、神鋼前踏切において脱線事故が発生〕		
		歩行空間	◎	・踏切の除却、交差道路や側道の整備により、安全で快適な歩行者・自転車の通行空間が確保される。 〔踏切利用者数（歩行者+自転車）12,280人/日（7踏切計） うち、踏切遮断により踏切待ちの影響を受ける延べ人数 約150万人/年〕		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・踏切を除却することにより、移動時間が短縮する。 ・連立事業と一体的に、高砂市が高砂駅と荒井駅に駅前広場を整備することにより、交通結節機能が強化される。		
		地域経済	◎	・踏切除却にあわせた幹線道路の整備により、臨海部工業地域からの物流機能が強化される。また、臨海部で計画されている播磨臨海地域道路へのアクセスが向上する。		
		災害	○	・緊急輸送道路である国道250号や計画されている播磨臨海地域道路へのアクセスが強化され、緊急車両の救援活動が効率化される。		
環境		○	・渋滞の解消に伴う騒音、排気ガスなどの低減、踏切除却による警報音の解消が期待できる。			
	地域社会	◎	・連立事業と一体的に行う市街地再開発事業、高架下空間への商業施設等の配置、大型商業施設跡地に民間商業施設を誘致することにより、まちの賑わいを創出する。 ・高砂駅南の観光エリアの玄関口として、高砂市が連立事業と一体的に魅力的な駅前空間や観光エリアへのアクセスルートを整備することで、交流が促進される。			
事業実施環境	◎	・高砂駅周辺では、まちづくり協議会において連立事業に併せた駅周辺整備計画を市と共にとりまとめている。荒井駅周辺においても、令和4年度上半期中のまちづくり協議会の立ち上げに向け、市と自治会が調整している。 ・高砂商工会議所から、県と市に対し、毎年連立事業の要望が出されている。 ・県、市、鉄道事業者により連絡調整会議を開催し、鉄道事業者とも合意形成が図られており、事業の見通しが立っている。				

採択の理由

- 事業主体である兵庫県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.8と便益が費用を上回っており、着工準備採択の前提条件が確認できるほか、学識経験者等の第三者委員会において着手妥当と判断されている。
 - また、自動車ボトルネック踏切を含む7箇所の踏切を除却することにより、交通渋滞や踏切事故の解消が図られ、事業の必要性、効果は高いと判断される。
 - 連続立体交差化に対する事業実施の環境が整っていると判断される。
- 以上から、本事業は令和4年度の新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。